

2015～2016年度 国際ロータリーのテーマ
『世界へのプレゼントになろう』
RI 会長 K. R. ラビンドラン

川崎北ロータリークラブ会長の方針
『心豊かに、健やかに、ロータリーを楽しもう』
会長 柳澤 信夫



川崎北ロータリークラブ 会報



会長 柳澤 信夫

幹事 佐久間 馨

会報委員長 小澤 秀昭

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス 武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://homepage2.nifty.com/kawasaki-north-rc/

例会：毎週水曜日 12：30

クイーン・アリス ガーデンテラス日吉

第2718例会

平成28年6月1日(水)

点 鐘

柳澤 信夫 会長

スマイル体操

塩田 聡 親睦委員

司会と斉唱

峯岸 雅宏 会場監督

クルーズ 由美子 ソングリーダー
「君が代」「奉仕の理想」

お客様紹介

藁科 義弘 親睦委員

川崎とどろき RC 会長 ロータリー青少年交換学生
ホストファミリー 内野 徹 様

ロータリー青少年交換学生 (エクアドル)
ミカエラ ガルベス オルドネス 様 (川崎とどろき RC)
凌 飛 君 (米山記念奨学生)

出席報告

塩田 聡 出席委員

会員数 58 名 (対象外 4 名)	出席 41 名	欠席 17 名
		出席率 75.93%
前々回訂正 (対象外 6 名)	欠席 23 名	MAKE UP 7 名
		訂正出席率 80.77%

欠席者

朝山君	花田君	濱田君	石井君	小林(政)君
貝田君	上山君	松波君	溝淵君	松尾君
松下君	茂木君	三平君	野口(隆)君	重田君
色摩君	米山君			

帰国前ご挨拶

ロータリー青少年交換学生 (エクアドル)
ミカエラ ガルベス オルドネス 様 (川崎とどろき RC)



まず初めに日本に来る機会
を与えてくれたロータリー
に感謝いたします。
私には目標がありました。
まず知識。日本の文化を深く
理解すること。次に経験。
いろいろなことを試したり、

見たりすること。そして日本を学ぶこと。日本語や日本文化を
教えてくれたホストファミリーのおかげでこ

れらの目標を達成することができました。加えて大事な
な友達もでき、他の留学生と素敵な思い出を作ることが
できました。本当にありがとうございました。

奨学金の贈呈

凌 飛 君



柳澤会長より、凌 飛 君に
米山記念奨学金の贈呈が行
われました。

会長報告

柳澤 信夫 会長

●理事会報告

1. 6月のプログラム → 承認

6月1日	理事会/会員お祝い/ 会員卓話：市川 清 会員
8日	休会
15日	退任挨拶
22日	退任挨拶 18：00～現・次期合同クラブ協議会 加賀料理 やまぐちにて開催
29日	ファイナル例会 18：00～クイーン・アリス日吉

2. 親睦委員会

ファイナル例会について

出演者への謝礼：約10万円→承認

タンゴは靴で床を鳴らすので、階下への音の影響を
確認する。

3. 職業奉仕委員会

職場訪問の報告→決算を承認

4. 社会奉仕委員会

・中原消防団消防大会：6月5日(日)10：00～
等々力緑地公園にて開催

出席者：柳澤会長 協賛金(トロフィー代)：
5万円→承認

・川崎フロンターレアシストクラブについて
2009-10年度 武田会員より依頼があり協賛開始

2口2万円協力→承認

洪会員が会合に出席する

5. 国際奉仕委員会より→特になし

6. 青少年奉仕委員会

・クラーク記念国際高校横浜青葉キャンパス IAC の件 会員数は 139 名

・例会日変更 第2月曜日 9時10分～
第4金曜日 15時40分～

※金曜日の例会は、IAC の役員・理事のみで行う

・5月30日(月) 学校行事準備のため休会

・例会場名札、追加発注→承認

7. エクアドル地震災害

青少年交換学生 ミカエラ ガルベス オルドネスさんへの支援

金5万円を本日の例会でお渡しする(会長より手渡されました)。

8. クラブ細則改正の件

改正案を会員に郵送。6月15日の例会で賛否を問う。

幹事報告 佐久間 馨 幹事

1. 地区からの来信

前年度(2014-15年度)の地区年次報告書が届きましたので回覧いたします。

2. 他クラブ例会臨時変更

●川崎高津 RC

6月2日⇒5日(日) 多摩川清掃活動 9:00～

6月30日(木) 休会

●川崎大師 RC

6月15日～16日 一泊移動例会

ホテル三日月(木更津市)

6月29日(水) 休会

●川崎幸 RC

6月24日(金) 夜間例会

3. 他クラブ会報の回覧:川崎南 RC

4. 次週6月8日(水)は、休会です。

委員会報告

ゴルフ同好会(横山 芳春 会員)

第4回 柳澤会長杯

日時:6月13日(月)

※本日が締切日です。お忘れのないようお願いします。

親睦委員会(クルーズ 由美子 親睦委員長)

6月29日(水)のファイナル例会について、まだ出席の返事をされていない方は、ご連絡ください。

会員お祝い 相良久征 親睦委員

お誕生日おめでとうございます!

●会員誕生日

柳澤 信夫 会員 世良 俊昭 会員 貝田 洋 会員

戸川 俊雄 会員 渡辺 伸一 会員 村山 輝忠 会員

●ご夫人誕生日

若林 征矢子 様 塩田 美詠 様

●結婚記念日

小澤 秀昭 会員 峯岸 雅宏 会員

●入会記念日

戸川 俊雄 会員 北村 善市 会員 波木井 輝昭 会員

松山 直樹 会員 谷口 一成 会員 藁科 義弘 会員



会員卓話 市川 清 会員

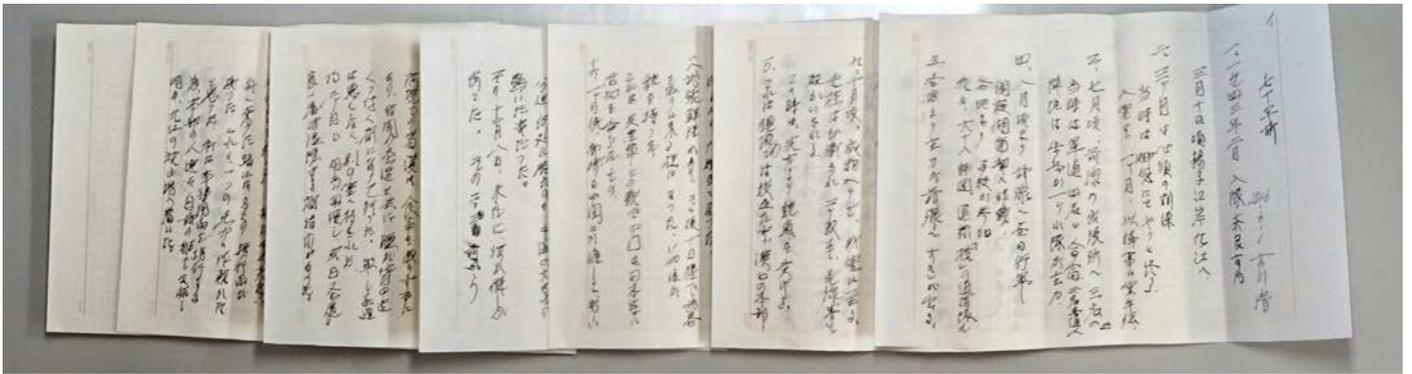
『70年前』 軍隊へ入隊



1943年(昭和18年)2月、私は軍隊に入り、まず奈良へ行きました。兵隊にはいろいろ職務があります。本科というのは歩兵のことです。歩兵はいくら弾が飛んでいても突撃の命令には従わなくてはなりません。歩兵以外を特科といいます。私は特科でした。そのなかでも通信隊に入りましたので、まだましな方です。

奈良を2月25日頃に出発して、汽車で下関へ移動しました。夜に海峡を渡り、朝鮮、そこから満州、天津。天津から2～3日間、麦畑ばかりのところを汽車に乗って揚子江まで出ました。船で南京、九江へ行き、そこで68師団通信隊に入りました。この師団は連隊ではなく大隊編成です。8個大隊ぐらいだったか、1万数千人いたと思います。

隊に入ると3か月ぐらい特別訓練をやります。それをやると「死んでもいいな」ってな気分になります。この訓練は軍隊精神を植え付けるものだと思います。訓練がまもなく終わるといふときに脚気になってしまっ



— 市川会員の達筆な原稿 —

て、駆けるのがやっとなんとかごまかし、特別訓練を終えました。

病院に行く必要まではない軽症の場合は、「入室」といって各部隊にある医務室に行きます。訓練終了後、1か月ほどいました。それ以降は通信隊の務めのほか、事務所の手伝いをしたり、命令を黒板に書いたりなどをしていました。

7月に命令が出て、九江から漢口の間あたりへ出張することになりました。そこには歩兵が1個小隊あり、通信隊の仲間が3人いました。その他に「軍通」と呼ばれる電信連隊がいました。そこで普段は電線の修繕などをしていました。

大都市攻撃命令

8月に軍の命令がありました。漢口の先、洞庭湖の南側に大きな都市があり、そこを襲撃するというのです。軍の規模になると、師団が6個から7個の編成になります。作戦が始まり、もう1か月位、前の道路を兵隊がぞろぞろ通って行く。我々の通信隊もその道を通って行きました。汽車や船が使えなければ何百キロでも歩くのです。そうすると途中で足中が豆だらけになって参るのがいる。それらの人は白い布を付けられて、陣地で拾います。我々の陣地にも4、5人来ましたね。

陣地での事件

主力が前線へ行くと陣地が手薄となり、いろいろな事件が起こります。あるとき我々が作業から帰ってくると、庭に中国人が「スパイ」だとして縛り付けられていました。明日の朝、初年兵がその「スパイ」を突くと聞きました。いよいよその時がきたかと思いました。というのも通信隊で初年兵は私1人だったんです。やむを得ないと覚悟していましたが、次の朝にはその「スパイ」は逃げていました。本当に助かったと思いました。またあるときは大掛かりなデモがありました。部落中の太鼓などの楽器を夜にジャンジャン鳴らすんです。我々は塹壕に入りました。歩兵も夜なので出て行くことができませんでした。翌朝、電柱20数本が倒されているのがわかりました。電線も切られ、碍子も壊されました。これは我々ではどうにもならないので応援を頼みました。漢口にいた電信隊から20人ほどやってきて、彼らとともに復旧させました。

11月3日、遙拝（ようはい）がありました。明治神宮

に向いてお参りするのです。外に集合していたのだが、なかなか電信隊の曹長が出てこない。出てきたと思ったら帽子ではなく、鉄帽（ヘルメット）を被って出てきました。どうも兵隊から評判が良くなって、帽子を誰かに隠されたのではないかな。笑うわけにはいかないので、こらえました。

正月は、歩兵も我々も一緒に一杯やりました。歩兵の隊長は少尉。これが中国の強い酒を飲まずので参りました。2月になって、戦果を挙げたってことでしょう。命令が出て本部に帰ることになりました。この大都市攻撃作戦で日本軍は1,500人位の犠牲者が出ました。向こうはその十倍ぐらい犠牲者が出たようです。

大陸打通作戦

帰ったら転属だと知らされました。軍隊は非常に転属が多く、同じ隊に長くいることは少ないのです。入れ替わりで34師団通信隊がいた南昌へと移動することになりました。

漢口から広東まで粵漢線（えつかんせん）という線路があるのですが、途中はまだ中国軍が支配している。それを攻めるといって、我々68師団（檜）、南昌にいた34師団（椿）、揚子江南にいた116師団（嵐）から5,000名を九江に集め、前線へと向かうとのこと。その他58師団からなど40万～50万人集めたようです。

後に、この作戦の戦闘日誌を仲間が送ってきました。相当な激戦だったようです。通信兵はめったに死なない。年間5人から6人犠牲が出るくらい。ところがこの作戦は月に15人から20人。約2か年間を合わせると200人ぐらい死んでいる。通信隊は350人から360人くらいしかいないと思うんですけどね。おそらく甘く見たんでしょう。陣容が揃わないうちに攻撃を始めてしまった。あるとき高いところへ行ってみたら、そこに敵から集中砲火をくらい、師団長以下5～6人が重傷を負ってしまった。ひどいところでした。結局、重砲が来るのを待って、ようやく軍事基地がある衡陽を陥落させることができました。

一方、九江から南昌へと、我々は鉄道で移動しました。南昌は旧市街地と新市街地があり、新市街地は素晴らしい街でした。もっとも多くの建物は爆撃でなくなっていました。

入れ替わりのための通過部隊宿舎というのが大きな街

にはあります。そこで、1週間から10日休みます。通過部隊宿舎にはノミやシラミがごっそりいてどうにもならない。そこで毎日毎日、ドラム缶に湯を沸かし、着るものを全部消毒しました。

我々が宿舎として入ったのは5、6棟あった西洋式の住宅でした。西洋人が住んでいたと思います。隣が司令部、3階建てだったかな、学校だったんだと思います。当時日本にはなかった30m幅の道路がその前面にありました。両側5、6mずつが歩道。中央が小高く、そこが植樹帯になっている分離された車道。十字路の歩道は立体交差。道路を横断する地下道がある立派なものでした。それから大きな橋もありました。600mぐらいあったかな。中国で橋を見たのは初めてです。カン江という川に架かっていました。

観覧席もある立派な競技場もありました。そこに2回ほど、軍楽隊が慰問に来て、当時は英米の音楽はやらないので、ドイツの音楽を演奏していました。広いグラウンド、飛行実験場、講堂もありました。我々はそこに1年半いることになります。

変わったことといえば、宿舎に爆弾が仕掛けられたことがありました。歩哨がそれを見つけ、断線して爆発せず済んだのですが、爆発していれば大騒ぎでした。爆弾を見つけた歩哨は、翌日に一階級昇進しました。

玉音放送・武装解除

8月になったら重大放送があるという知らせを受け、隊長が出かけて行きました。帰ってくると「天皇陛下から激励された」という。うまく音声が届かなかったのでしょうか…。その夜に無線の連中から、日本が負けたと知らされました。これは大変だと。重労働させられるだとか何とか色々なデマが飛びました。負けたことがわかったので、大きな穴を掘って、不要なものを捨てたり、燃やしたりしました。

武装解除があり、我々が所持していた武器などは全部持っていかれました。ところが10日ぐらいしたら「取りに来い」というんです。日本軍の銃には菊のご紋が付いているので、そこらへ寝かしたりなんかできないのですが、行ってみると、野原に銃が山積みになっていました。向こうは我々の武器を受けるだけの兵力がないのですよ。で、10人に1人ぐらいの割合で、銃を持って行けと言われる。なぜかというと、「我々は中共と戦争しなければならぬ。日本のことはかまっていられないから自由に生活してくれ。月に1回、検査に行く」と。少将あたりが毎月検査に来ていたようだが私は見たことがない。ご馳走でも食っただけで、何もせずに帰っていたのではないかな。

9月16日頃、宿舎を引き渡し、新しい宿舎へ移動することになりました。前日「何時に司令部に集まれ」ということで、正直にその通りの時刻に集まったのですが、司令部に行ってみると誰もいない。他の連中は夜中のうちに橋の向こうの新しい宿舎へ移動したようなのです。

我々もそこへと向かいました。橋まで行くと敵の歩哨が立っていました。歩哨がいる手前で、隊長の桐野中尉が「歩調をとれ」と命令し、我々18名から20名は隊列を作りました。その歩哨の前を通ろうとしたその時、なんとその敵の歩哨は武装時の敬礼である「捧げ銃(ささげつつ)」をしました。橋の真ん中辺りまでいったときに、あれはなんだったのかと、意外な出来事に笑いが起こりました。

私が日本に帰ってくるのは翌年の6月になってですが、その間にもいろいろありました。赤痢にかかって入院もしました。ですが本日は時間となりましたので、こゝらで終わりといたします。本日はありがとうございました。

ニコニコレポート 入来 武久 副会場監督

川崎とどろき RC 会長 ロータリー青少年交換学生

ホストファミリー 内野 徹 様、

ロータリー青少年交換学生 (エクアドル)

ミカエラ ガルベス オルドネス 様 (川崎とどろき RC)

青少年交換学生プログラムにつきましては、ご支援ありがとうございます。本日はミカエラさんにご挨拶に伺いました。7月25日に帰国予定でございます。日本語も上手になり、日本の生活にも慣れ、学校生活も楽しんでいるようです。今日はお世話になります。

柳澤 信夫 会長、佐久間 馨 幹事

今日から6月、本年度最後の月となりました。有終の美をかざるべく、例会に出席し、楽しみましょう。市川会員、卓話をよろしく願いいたします。

榎木 永一郎 職業奉仕委員長

先週の職場訪問に参加された会員の皆様、ありがとうございました。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

追伸：ネクタイを忘れている方がいると思いますが、私の方で預かっていますので声を掛けてください。

戸川 俊雄 君、宮崎 秀樹 君、小澤 秀昭 君、洪 征治 君、
入来 武久 君、大塚 正一 君

市川会員、本日の卓話楽しみにしております。よろしく願いいたします。

貝田 洋 君

6月14日のNHKのとと姉ちゃんに、私の小さい頃の写真が出ます。どんなに可愛かったか見てください。

クルーズ 由美子 君、谷口 一成 君、横山 芳春 君、
渡辺 伸一 君、村山 輝忠 君、藁科 義弘 君、
小林 美和 君 (親睦委員会)、榎木 永一郎 君

今年度もあと残り1か月となりました。皆様よろしく願いいたします。市川さん、本日の卓話、よろしく願いいたします。